

## 病院報告の概況

### 1 在院患者数

令和元年の年間の在院患者延数は4,550,986人(前年4,657,690人)で、新入院患者数は113,583人(同113,992人)、退院患者数は113,636人(同114,293人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると12,468.5人(同12,760.8人)で、前年に比べ292.3人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では10,104.2人(総数の81.0%)で、前年の10,378.6人に比べ274.4人、精神科病院では2,364.3人(同19.0%)で前年の2,382.2人に比べ17.9人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では5,060.5人(総数の40.6%)で、前年の5,149.1人に比べ88.6人、精神病床では3,718.4人(同29.8%)で、前年の3,755.7人に比べ37.3人減少している。結核病床では、13.6人(同0.1%)で前年の16.2人に比べ2.6人減少している。

なお、療養病床では3,675.9人(総数の29.5%)で、前年の3,839.8人に比べ163.9人減少している。

### 2 外来患者数

平令和元年の年間の外来患者延数は3,676,602人(前年3,720,126人)である。1日平均に換算すると患者数は10,072.9人(同10,192.1人)で、前年に比べ119.2人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,322.1人(総数の92.5%)で、前年の9,465.9人に比べ143.8人減少し、精神科病院では750.8人(同7.5%)で前年の726.2人に比べ24.6人増加している。

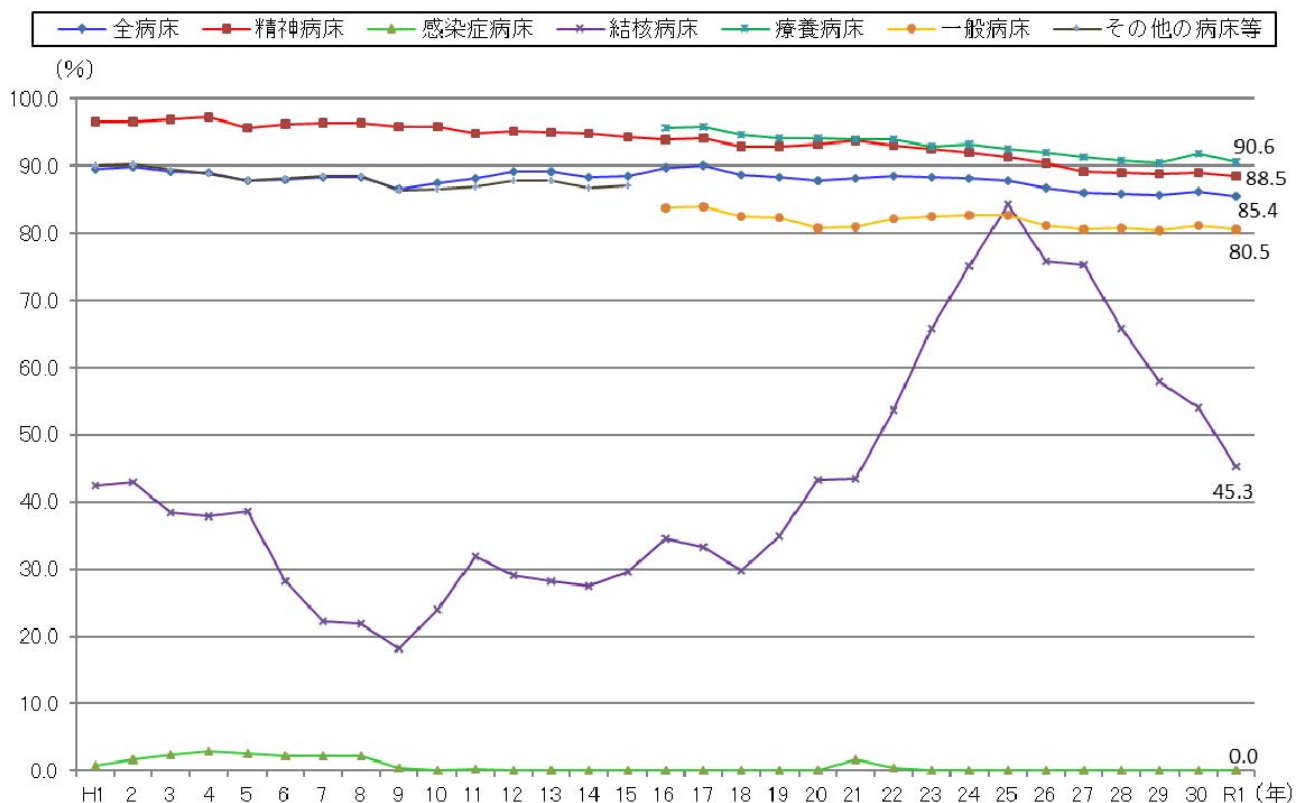
### 3 病床利用率

全病床における病床利用率は85.4%(前年86.2%)で、前年に比べ0.8ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が90.6%(同91.7%)で最も高く、次いで精神病床が88.5%(同89.0%)となっている。

保健所別では、鳥栖保健所が90.3%と高く、佐賀中部保健所が81.7%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。